

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394000067
事業所名	グループホーム新城作手の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「これまで続けてきた良いことは続けたい」として小学校の共育（ともい）に関わる等、地域との連携を重ねています。そんな中、中学生の職場体験の受入れを新たにおこなうとともに、民生委員の仲介を得て「社会との接点を」必要とする地域住民の来訪を週1回受け入れています。利用者者とゲームに興じるなどして、欠かさず訪れている様子に事業所としても地域貢献につながったと安堵しています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議のメンバーは顔ぶれも変わることなく、隔月開催への協力を得ています。回数を経て事業所の熱意が通じたのか、地域の行事情報については単に場所や日時に留まらず、「此处へ行くにはこういった方法もとれる」とか「〇〇さんが核となっているから、頼んでみたら…」といった具体的な助言が得られるようになり、利用者の外出に大いに役立っています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） には成年後見を受けている利用者の手続きに毎月行く必要があり、同じフロアにある地域包括支援センターにも欠かさず挨拶に立ち寄っています。また保険者は三河広域連合となりましたが、運営推進会議の議事録はこれまで通り、新城市の窓口へ届けています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者は食器拭きや洗濯干しといった生活リハビリを通じて、手伝う職員に何気ない一言を伝える機会があり、内容は職員間で共有しています。また、面会や管理者からの電話、「作手の家通信」を以て家族の理解並びに応援が得られており、例えば転倒リスクについて話すと、「もう年だし、無理をさせないで過ごさせてくれたらいいよ」「家でも転ぶんだから、仕方ない」と、介護を共に話し合う態勢が培われています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎